

37THSpace Symposium 参加報告

2022年4月22日



村上 淳



目次

概要	1
感想・分析	1
主な講演	2
展示・会場にて	2

概要

2022年4月4日(月)～7日(木)の4日間、米国 Colorado Springs の Broadmoor Hotel にて 37 回の Space Symposium が開催された。例年、4月の第1週に開催されているが昨年はコロナの影響で8月の開催で現地での参加は限定的であったが、今回は10,000人を超える参加者を得て、現地参加が中心の Symposium となっていた。日本からも防衛省を始めとする政府関係者や JAXA や民間から多数参加していた。

感想・分析

この Symposium は元々米空軍の計画を広く知って貰うことを目的として1984年米空軍の聖地と言える Colorado Springs にて始まった。今や1万人を超える参加者を得ており、米国最大の宇宙関係の

Symposium となったが最初は数人にて有志が集まる会合であったとの話である。講演者の1番目が米宇宙軍長であることからしても米宇宙軍や空軍が

どのような方向に向かおうとしているのか理解する上で良い機会となっている。

それに加えて今年2月24日の露のウクライナ進行の直後に行われていることもあり、否応なしにその影響と露との関係を今後どうして行くのかが話題となっていた。もちろん、中国や北朝鮮の脅威の話も出て来るのだが、ウクライナ問題が大きすぎてかすんでしまった印象を持ってしまった。宇宙分野では国際宇宙ステーションで露と協力していることを以



前であれば宇宙と防衛/軍とは異なると言っていたが、戦闘が予想以上に拡大している状況下では誰もこれには触れたくない様子が見られた。一方で、露の制裁の影響で露からの打上げは当面難しくなる事態から、ULA や Space-X や ArianeSpace は大幅に受注を延ばして来ており、特需でウハウハと言った印象を持った。

本報告書へのお問い合わせは：



株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク

<https://sat-biznet.com/contact-us/>

村上 淳

主な講演



<以下略>



<以下略>

展示・会場にて



<以下略>

